



私たち還暦世代!

今年度の同窓会会報の協賛広告のお願いをした時、昭和42年卒女子からいろいろなお話が届きました。岐高時代の思い出、至福の一時、これからの事など、自由に書かれていて、楽しいものばかりなのでこのコーナーを開きました。同窓会の皆さま、どうぞゆっくりお楽しみ下さい。

(編集:昭和42年卒女子部有志)

ボックスプリーツ

桜の校章と制服の箱ひだスカートをみると、岐高時代を思い出します。



今でこそ女性が様々な分野に進出し働き続けることが可能だが、私達が高校生頃は、女性の職業への門戸は狭く、働き続けることは容易ではなかった。当時若い女性の先生が三人(英語・古典・養護)いらしたが、ずっと教師を続けてこられたのだろうか。今では私達も先生もおなじ六〇代だと思つと、改めて時の流れを感じる。



そう、松井裕子先生と、大学出たての小川直子先生、田立裕子先生でした。皆、おきれいで、はつらつとした方々でした。用もない!熱もない!のに保健室に通つた生徒もいたとか。当時の現代女性のいちばん身近なお手本で、憧れでした。



《先生と言えば、やはり「マメ」こと、殿岡辰雄先生が忘れられません。》



一の四のみんな、英語の授業一時間中、オイオイ泣き通してごめんね。「教科書を忘れても、絶対に借りるな!借りたら許さん!」と、殿岡先生は命令していたよね。「チャイムが鳴ったら、先生が来

るまで眼をつむって、黙って待っておれ!」とも。

ある日「しまった!教科書忘れた!どうしよう!」私、英語は苦手なぶんばらないといけなかったので、「生徒に借りるとばれる。そうだ、〇〇先生なら切なる生徒の気持ちがあつてくださるだろう」と考え、殿岡先生に見つからないように職員室で借りて、素知らぬ顔で眼をつぶって待っていた。ヒタヒタ、ガラッ!戸が開くやいなや、あの小さな体から、雷のようななり声「△!□!教室の後ろで一時間立つとれ!お前は、あろうことか、教師から教科書借りたとは何事だ!〇〇先生から報告があつたぞ」つきあつてもらつた□さんを道連れに一時間教室の後ろで立つハメに...



こらえても、こらえても、泣けるのです。悔しくて、声も大きくなりました。□さんが「△ちゃん、泣きないや。」とつつくのですが、止まらない。「勉強したくて借りたのに」。なんで、〇〇先生も殿岡先生に言いつけるんや、味方だと思つていたのに...止まらない泣き声でした。反省するより悔しさいっぱいで、みんなに迷惑かけていました、ごめんね。マメちゃん先生に立たされた時、生まれつき茶色い私の髪も怒りの的になり、「なんだその色は、ビールで洗ったのか?」

と叱られました。「えっ、ビールで洗うと赤くなるの?」そのことだけ頭に入りました。



《殿岡先生は詩人で、確か『詩宴』を主催しておられました。》



一年生の終業式の後、何人かと連れ立って、殿岡先生の自宅に遊びに行きました。詩人の「マメ」さは、私にも詩集を下さいました。



入学式の翌日、個別教育相談で、「大学はどこに行きたいか?」と聞かれ、担任の「サニタ」こと河村先生に烈火のごとく怒りをぶつけた私です。「高校に入った翌日に大学の事を聞くとは何だ!大学なんて私の人生の視野にはない。高校にまで来させてもらっただけで御の字!これから、もも色の高校生活を送ろうと胸いっぱいなのに。高校生活そのものはどうでもいいのか?」

優しい河村先生は「うんうん」とうなずいて聞いて下さいました。

「えっ、もも色?なんか変」そう、バラ色と間違えていました。もも色の気はサラサラなかった私でしたのに。

とにかく数学ができなくて、けっこういい歳まで、試験が白紙という悪夢にうなされてきました。よほどのトラウマだったみたい。

一限目の松久先生の数学を勝手にホカして、二限目登校したら、延長授業をやっておられて見つかり、そのまま職員室に直行!「家で数学自習していました」と言ったら、余計に叱られました。それにしても、実力テストで、数学で二〇〇点満点を取るなんて、異界の人かと思っていました。

確か高一の時だったと思います。学年で一番頭が良いというF君が隣の席で、単語テストの時、皮肉な事に、おバカな私はその子と交換して採点しあうのです。案の定、まちがいだらけの私の単語を、その子は『これでも合っていると思うが』と言いながら辞書を引いてくれているのです。それから、頭のいい子の認識が変わりました。日本の頭脳になると思われていたその子、若くして他界されたと……

合掌

岐高の思い出

高校二年の頃サウンドオブミュージックの映画が流行っていました。ECFMGから帰国し、二年生のクラスに入ってしまった、若井道代さんと、昼食后、堤へ応援歌の練習に行く途中、いつも、ドレミの歌を英語と一緒に歌っていた事が懐かしく思い出されます。彼女は三年生の授業を受けず、名大の法学部へ入られ、三年生の時に名大祭に誘われ、行きました。彼女は、サウンドオブミュージックの主人公の様な雰囲気を持っていました。才色兼備で明るく、楽しみながら勉強するタイプだったので、その天分に憧れました。

その頃、舟木二夫の、「高校三年生」の歌も流行していました。その歌も好きでした。ずっと後になって、舟木一夫は、高校生活の経験がない事を知り、驚きました。あの頃の自分は、世の中の事も知らず、狭い世界で生きていたと思いました。

岐高時代の思い出

二年に進級した時、AFS留学の帰国生のWさんが編入されました。彼女のアメリカナイズされた行動は大胆で、楽しく、おかげで愉快な一年を過ごすことができました。

百人一首を暗記するという宿題が出さ

れた時は、彼女が企画した「カルタ大会」に盛り上がりました。I君の家に集まり、

一日中、食べたり、飲んだり(お酒も出ていたかも)。男女二人一組のリーグ戦に、豪華な賞品も用意されました。今で言う合コンですね。楽しみながら勉強しようというコンセプトでした。

また、物理の勉強と称して、階段の四階からボールを投げて、いくつまでできる放物線に大喜びしたり。英語の予習ができていない時は、彼女に頼みこんで、難解な質問を先生に出してもらい時間稼ぎをするなどなど。「頭上の空は真つ青だけど、地平近くに青が薄くなるのは何故?」という質問を彼女から出され、一生懸命考えたことも。考える事の楽しさに、前

途がきらきら光って見えました。

華やかなことは何も無かった高校生活でしたが、部活動は楽しかったですね。長良川の土手の階段に並んで座って楽器を吹きました。スカートがほこりで真白になるので男子が帽子で拭いてくれました。後に結婚することになった夫です。四五年も前の話です。

我がクラブでは、活動中、よくあみだくじでお金を出し合って、お菓子を買ってみんなで分け合って食べました。マカロンや前田のクラッカー、しるこサンドやペロペロキャンディーなどだったかな。



サッカー部はハチマキ姿で練習していたね。剣道部員は、袴の下は短パンだった。柔道部の受け身はかっこよかったし、バスケットは、コートの中から一発シュート。みんな素敵でしたね。

新聞部や社研の、主張する姿勢、スタンスに憧れました。

定期考査の後、生徒会主催で、フォーダンスの会がよくおこなわれましたよね。女子は二割くらいしかいないから、壁の花になることもなく……あれはよかった。



トレジャーボックス

懐かしいお話がいろいろ出ましたが、今一番楽しいこと、大切なものはなんでしょう。

絶対にダメ!という一言ですっかりあきらめていた犬。ところが、ある日、鳴くことも、動くこともできないボロボロのよ

うな犬を、娘が拾ってきたのです。飼いが見つかるまでという約束で、えさをやり、散歩に出かけ、丁度一年。今ではすっかり我家の一員。よく鳴き、玄関先につながれ、おばあちゃんに叱られてばかりですが……。

私の生活も早起きになり、夜明けのケヤキ並木を散歩したり、長良川畔を歩いたり、すっかり健康になりました。娘は嫁ぎましたが、可愛い宝物を置いていてくれました。

私が今一番幸せなひととき

それは、二歳前の孫に会う時と麻雀! 以前はちょっとガラが悪いと思っていたのに、主人の母が楽しそうなので始めてみると楽しいこと、面白いこと、仲間とおしゃべりしながら、あつという間に四五時間。友達と温泉に行つて楽しむこともできます。脳トレにもなるとか、老後の趣味に最高!お勧めですよ。

五〇歳を過ぎてから、サンゴ礁の海にはまっています。今年はいンド洋にある世界有数のサンゴ礁の美しい群島の国、モルディブに行つてきました。一〇年前に比べて珊瑚の白化が進んでいて、地球温暖化の影響を目の当たりにし心が痛みました。それでも、まだまだ元気な珊瑚も頑張っていて、そこでは亀や魚がゆった

りと泳いでいました。夜は満天の星を眺め、この美しい海と空が生き物(人間も)を守ってくれていることを感じた旅でした。



アラ還模様

仕事が非常勤になったのと末っ子が結婚して家を出たのが同時になり自由時間が増えました。今後の生活の基盤を模索中です。テニス・ダンス・ゴルフとスポーツが生活の一部になりました。長年続けてきたテニスのお陰か体力はまだ大丈夫のようです。学生時代は運動部に無縁でしたが、この年齢でのスポーツとの出会いに感謝しています。文化的趣味も再発見したいです。

何より人とかかわりを大切にしたいと思っています。

着付けを習い始めました

着物を着る機会が時々あるのですが、

なかなかきれいに着る事ができません。そこで、着付け教室に通い始めて一年余、まだまだうまくならないのですが、自分で着るだけでなく、誰かに着付けをしてみたいと思うようになりました。着付けのプロになれたらいいなあ、と思いながら教室に通っている今日この頃です。

皆さんも、たんにすに眠っている着物に手を通してみませんか。結構楽しいものですよ。

着付けを頼まれば飛んでいけるようになる予定なので、「自分で着るのは難しいわ」と思っている方、その節はご用命くださいね。

孫が、数年前からバレエを習っています。この話を最初聞いた時、とてもうれしく思いました。私が子供のころ、高橋真琴さんなどのバレエ漫画が大流行で、習いたいと心密かに思っても、我家の経済状況では夢のまた夢、せめて漫画で主人公のお星キラキラの大きな瞳に見入ったことを思い出しました。そんなことは何もしらない孫が、私の心の奥の、バレエへの憧れの扉を開けてくれたように思いました。とはいえ、六〇の手習いにしても、今更バレエはできませんから、孫の発表会にはいそいそ花束を持って応援に出かけ、未来のバレリーナ!を楽しみにしている祖母ばかちゃんです。

クロスステッチの単純作業の作品です。



額屋さんから額が完成したと連絡あり、自称義理人情がた私は、夜なべ目眩し、三年持ってて投げ出しそうになっていたのを一か月位で仕上げました。



週三日、三〇組前後の若いお母さん達や、小さなかわいい赤ちゃんと、楽しく、にぎやかに遊んでいます。おかげで大きな声でおしゃべりするのが癖になり、たまに主人と出掛けると、つい声が大きくなってしまう、「しーっ!」とたしなめられることも：：かれこれ、一一年、沢山の出会いに感謝、感謝の毎日です。



義父母、実父母、四人とも大正生まれで、私は「大正四人組」と勝手に名

付けている。このうち義父と実父は既に他界し、現在、女性陣が健在である。二人の母はともに八五歳を過ぎて一人暮らし、まだまだ自分の事は自分の手で大体こなしているの、嫁・娘として大変有難いことと、感謝の思いがある。しかし、この大正女組は手強い!のです。二人とも、見事に、「強引に MY WAY!」自分のペースを崩しません。頑固に、しおらしく、とにかく思うように人を扱います。私ももう六〇も過ぎたのに勝てません。「戦後生まれはやはりやわかな」と思いながら、「頑張るぞ!負けないぞ!」と、自分を励ましている毎日です。



ずいぶん前から、二人と一匹の世帯になっっている。二人は六〇年以上、一匹は一三年以上、この世に籍を置いていて、全員くたびれ始めたところである。

特に一匹の方は、この冬が越せないのではと思われ、獣医師には「もう、歳だから」と諦められたほどであった。インターフェロンを四回打ち、点滴をして、そのためますますフラフラになった姿に、涙したものである。

ところが、暖かくなるにつれ、俄に元気になり、一三歳の壁も乗り越えて、今は以前のようにのさばっている。ただ、以前は自分で開けて出入りしていた専用

口を敬遠し、ニャーニャー啼いて呼びつけ、戸を開けさせるし、さすがにジャンプはしなくなった。

そして、二人の方といえば、生活のDS(一匹も同じ)とDIY(これが一匹と違うところ)を実践中である。



実りの日々へ

皆さん、それぞれの人生、日々を重ねてこられましたね。少しこれからの事も含めたお話はどうでしょう。



義父、義母、父母、おまけに主人まで見送り、我家では、次は私の番になってしまいました。二人の娘はそれぞれの職を持ち、二人の孫にも恵まれました。残りの私の人生は、自閉症の息子と二人で世界中を旅して、息子の輝く顔を見たいと思っております。



二月に初めての孫娘が生まれて、身内だけで褒めあっています。パソコンや携

帯に送られてくる写真や動画がたのしみです。

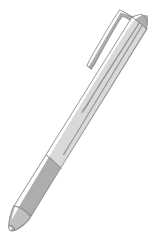
大きなことはできないけれど、これからは何をするにもいろんな方々と心通わせ、温かい気持ちで生きていきたいですね。

実り豊かな人生

トシネル(高校三年間)を抜けたら、実り豊かな人生(主人の好きな言葉)が広がっていました。出会いが人生を豊かにしてくれます：：夫との出会い、子供(孫)との出会い、仕事、友、生徒、犬、庭の花々・実をつける木々、歌・歌手、インターネット等等。これからも、実り豊かな人生を歩んで生きたいと思っています。



皆さま、有難うございました。もう戻らぬ昔は心の裡に、これからの毎日が好き日々であることを願いながら、お別れします。どうぞお元気で、またお会いしましょう。



あこのころの「岐高新聞」より(昭和60年)

(1) 昭和60年5月18日

岐 高 新 聞

第124号

岐高新聞

発行所
岐阜市大丸場
岐阜県立岐阜高等学校
岐阜新聞局

編集責任者 二村 謙子
加藤久美子
水谷千寿香
兼田由美子
岡野 圭子
山田 純
谷口 尚
南 和夫
坂井志乃
中村 博明
小森 茂代
野々垣朝雄
伊藤裕美子
鈴木 千秋
真島 知子
藤 生田 久典
渡辺 正昭

印刷所
丹橋印刷株式会社
岐阜市西野町二
電話64-017140

新年度にあたって

校長先生インタビュー



校長先生 富成信彦先生

富成校長先生、お久しぶりです。新年度にあたって、ご挨拶を申し上げます。本校は、昭和六十一年、創立六十周年を迎えます。創立六十周年は、本校の歴史を振り返り、今後の発展を期す重要な年です。本校は、創立以来、常に教育の質を高め、社会に貢献してきました。新年度は、この歴史を継承し、さらなる発展を期すことを目指します。本校の教育理念は、「全人教育」です。知識、技能、態度、健康の四つをバランスよく育て、個性を伸ばし、社会で活躍できる人材を育てます。新年度は、この理念を貫き、生徒一人ひとりの成長を支援してまいります。ご来校の際は、ぜひ本校の歴史と伝統を感じていただきたいと思います。

富成校長先生、お久しぶりです。新年度にあたって、ご挨拶を申し上げます。本校は、昭和六十一年、創立六十周年を迎えます。創立六十周年は、本校の歴史を振り返り、今後の発展を期す重要な年です。本校は、創立以来、常に教育の質を高め、社会に貢献してきました。新年度は、この歴史を継承し、さらなる発展を期すことを目指します。本校の教育理念は、「全人教育」です。知識、技能、態度、健康の四つをバランスよく育て、個性を伸ばし、社会で活躍できる人材を育てます。新年度は、この理念を貫き、生徒一人ひとりの成長を支援してまいります。ご来校の際は、ぜひ本校の歴史と伝統を感じていただきたいと思います。

富成校長先生、お久しぶりです。新年度にあたって、ご挨拶を申し上げます。本校は、昭和六十一年、創立六十周年を迎えます。創立六十周年は、本校の歴史を振り返り、今後の発展を期す重要な年です。本校は、創立以来、常に教育の質を高め、社会に貢献してきました。新年度は、この歴史を継承し、さらなる発展を期すことを目指します。本校の教育理念は、「全人教育」です。知識、技能、態度、健康の四つをバランスよく育て、個性を伸ばし、社会で活躍できる人材を育てます。新年度は、この理念を貫き、生徒一人ひとりの成長を支援してまいります。ご来校の際は、ぜひ本校の歴史と伝統を感じていただきたいと思います。

富成校長先生、お久しぶりです。新年度にあたって、ご挨拶を申し上げます。本校は、昭和六十一年、創立六十周年を迎えます。創立六十周年は、本校の歴史を振り返り、今後の発展を期す重要な年です。本校は、創立以来、常に教育の質を高め、社会に貢献してきました。新年度は、この歴史を継承し、さらなる発展を期すことを目指します。本校の教育理念は、「全人教育」です。知識、技能、態度、健康の四つをバランスよく育て、個性を伸ばし、社会で活躍できる人材を育てます。新年度は、この理念を貫き、生徒一人ひとりの成長を支援してまいります。ご来校の際は、ぜひ本校の歴史と伝統を感じていただきたいと思います。

富成校長先生、お久しぶりです。新年度にあたって、ご挨拶を申し上げます。本校は、昭和六十一年、創立六十周年を迎えます。創立六十周年は、本校の歴史を振り返り、今後の発展を期す重要な年です。本校は、創立以来、常に教育の質を高め、社会に貢献してきました。新年度は、この歴史を継承し、さらなる発展を期すことを目指します。本校の教育理念は、「全人教育」です。知識、技能、態度、健康の四つをバランスよく育て、個性を伸ばし、社会で活躍できる人材を育てます。新年度は、この理念を貫き、生徒一人ひとりの成長を支援してまいります。ご来校の際は、ぜひ本校の歴史と伝統を感じていただきたいと思います。

富成校長先生、お久しぶりです。新年度にあたって、ご挨拶を申し上げます。本校は、昭和六十一年、創立六十周年を迎えます。創立六十周年は、本校の歴史を振り返り、今後の発展を期す重要な年です。本校は、創立以来、常に教育の質を高め、社会に貢献してきました。新年度は、この歴史を継承し、さらなる発展を期すことを目指します。本校の教育理念は、「全人教育」です。知識、技能、態度、健康の四つをバランスよく育て、個性を伸ばし、社会で活躍できる人材を育てます。新年度は、この理念を貫き、生徒一人ひとりの成長を支援してまいります。ご来校の際は、ぜひ本校の歴史と伝統を感じていただきたいと思います。

富成校長先生、お久しぶりです。新年度にあたって、ご挨拶を申し上げます。本校は、昭和六十一年、創立六十周年を迎えます。創立六十周年は、本校の歴史を振り返り、今後の発展を期す重要な年です。本校は、創立以来、常に教育の質を高め、社会に貢献してきました。新年度は、この歴史を継承し、さらなる発展を期すことを目指します。本校の教育理念は、「全人教育」です。知識、技能、態度、健康の四つをバランスよく育て、個性を伸ばし、社会で活躍できる人材を育てます。新年度は、この理念を貫き、生徒一人ひとりの成長を支援してまいります。ご来校の際は、ぜひ本校の歴史と伝統を感じていただきたいと思います。

富成校長先生、お久しぶりです。新年度にあたって、ご挨拶を申し上げます。本校は、昭和六十一年、創立六十周年を迎えます。創立六十周年は、本校の歴史を振り返り、今後の発展を期す重要な年です。本校は、創立以来、常に教育の質を高め、社会に貢献してきました。新年度は、この歴史を継承し、さらなる発展を期すことを目指します。本校の教育理念は、「全人教育」です。知識、技能、態度、健康の四つをバランスよく育て、個性を伸ばし、社会で活躍できる人材を育てます。新年度は、この理念を貫き、生徒一人ひとりの成長を支援してまいります。ご来校の際は、ぜひ本校の歴史と伝統を感じていただきたいと思います。

日本人論と偏見

「日本人論」とは、日本人の性格、文化、生活習慣などを論じたものである。しかし、日本人論には、しばしば偏見が込められている。外国人から見た日本人の印象は、必ずしも正確なものではない。むしろ、ステレオタイプに基づいた偏見が、日本人論の多くを占めている。この偏見は、日本人の個性や多様性を無視し、単一のイメージで日本人を捉えている。これは、国際交流を促進し、相互理解を深める上で、大きな障害となっている。日本人論を論じる際には、客観的な視点を持ち、日本人の多様な側面を理解することが重要である。また、外国人の日本人に対する偏見を減らすためには、日本人自身が自己の文化や価値観を正しく理解し、発信することが必要である。

「日本人論」とは、日本人の性格、文化、生活習慣などを論じたものである。しかし、日本人論には、しばしば偏見が込められている。外国人から見た日本人の印象は、必ずしも正確なものではない。むしろ、ステレオタイプに基づいた偏見が、日本人論の多くを占めている。この偏見は、日本人の個性や多様性を無視し、単一のイメージで日本人を捉えている。これは、国際交流を促進し、相互理解を深める上で、大きな障害となっている。日本人論を論じる際には、客観的な視点を持ち、日本人の多様な側面を理解することが重要である。また、外国人の日本人に対する偏見を減らすためには、日本人自身が自己の文化や価値観を正しく理解し、発信することが必要である。

「日本人論」とは、日本人の性格、文化、生活習慣などを論じたものである。しかし、日本人論には、しばしば偏見が込められている。外国人から見た日本人の印象は、必ずしも正確なものではない。むしろ、ステレオタイプに基づいた偏見が、日本人論の多くを占めている。この偏見は、日本人の個性や多様性を無視し、単一のイメージで日本人を捉えている。これは、国際交流を促進し、相互理解を深める上で、大きな障害となっている。日本人論を論じる際には、客観的な視点を持ち、日本人の多様な側面を理解することが重要である。また、外国人の日本人に対する偏見を減らすためには、日本人自身が自己の文化や価値観を正しく理解し、発信することが必要である。

「日本人論」とは、日本人の性格、文化、生活習慣などを論じたものである。しかし、日本人論には、しばしば偏見が込められている。外国人から見た日本人の印象は、必ずしも正確なものではない。むしろ、ステレオタイプに基づいた偏見が、日本人論の多くを占めている。この偏見は、日本人の個性や多様性を無視し、単一のイメージで日本人を捉えている。これは、国際交流を促進し、相互理解を深める上で、大きな障害となっている。日本人論を論じる際には、客観的な視点を持ち、日本人の多様な側面を理解することが重要である。また、外国人の日本人に対する偏見を減らすためには、日本人自身が自己の文化や価値観を正しく理解し、発信することが必要である。

「日本人論」とは、日本人の性格、文化、生活習慣などを論じたものである。しかし、日本人論には、しばしば偏見が込められている。外国人から見た日本人の印象は、必ずしも正確なものではない。むしろ、ステレオタイプに基づいた偏見が、日本人論の多くを占めている。この偏見は、日本人の個性や多様性を無視し、単一のイメージで日本人を捉えている。これは、国際交流を促進し、相互理解を深める上で、大きな障害となっている。日本人論を論じる際には、客観的な視点を持ち、日本人の多様な側面を理解することが重要である。また、外国人の日本人に対する偏見を減らすためには、日本人自身が自己の文化や価値観を正しく理解し、発信することが必要である。

「日本人論」とは、日本人の性格、文化、生活習慣などを論じたものである。しかし、日本人論には、しばしば偏見が込められている。外国人から見た日本人の印象は、必ずしも正確なものではない。むしろ、ステレオタイプに基づいた偏見が、日本人論の多くを占めている。この偏見は、日本人の個性や多様性を無視し、単一のイメージで日本人を捉えている。これは、国際交流を促進し、相互理解を深める上で、大きな障害となっている。日本人論を論じる際には、客観的な視点を持ち、日本人の多様な側面を理解することが重要である。また、外国人の日本人に対する偏見を減らすためには、日本人自身が自己の文化や価値観を正しく理解し、発信することが必要である。

「日本人論」とは、日本人の性格、文化、生活習慣などを論じたものである。しかし、日本人論には、しばしば偏見が込められている。外国人から見た日本人の印象は、必ずしも正確なものではない。むしろ、ステレオタイプに基づいた偏見が、日本人論の多くを占めている。この偏見は、日本人の個性や多様性を無視し、単一のイメージで日本人を捉えている。これは、国際交流を促進し、相互理解を深める上で、大きな障害となっている。日本人論を論じる際には、客観的な視点を持ち、日本人の多様な側面を理解することが重要である。また、外国人の日本人に対する偏見を減らすためには、日本人自身が自己の文化や価値観を正しく理解し、発信することが必要である。



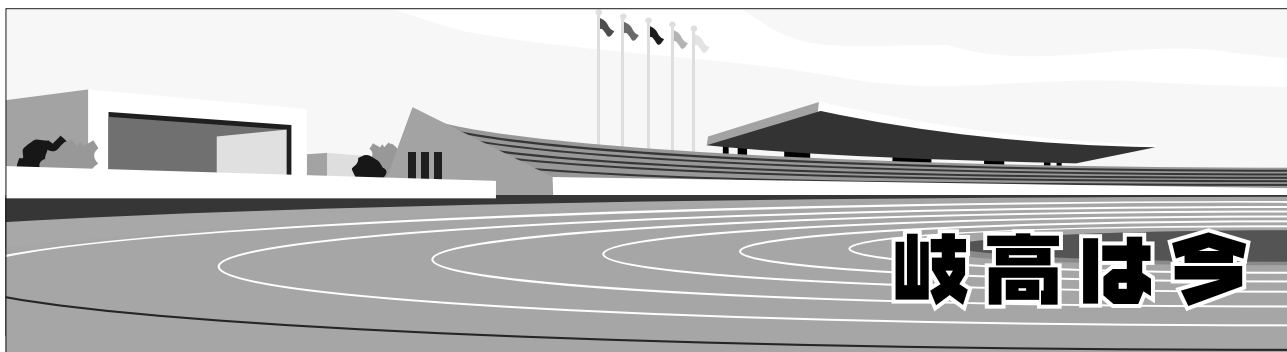
斜投影
小島の嵐がある
山村 幸典

小島の嵐がある
山村 幸典

斜投影
小島の嵐がある
山村 幸典

一隻眼

「一隻眼」は、山村幸典氏の作品である。この作品は、斜投影という独特の表現手法を用いて、小島の嵐を描いている。斜投影は、通常の透視図法とは異なり、視線が一定の角度で傾いている状態を表現する。これにより、空間の歪みや変形が生じ、見る者に不思議な感覚を与える。山村氏は、この手法を用いて、嵐の激しい動きや、島の荒涼とした風景を効果的に表現している。作品は、見る者の想像力を刺激し、自然の威力と人間の無力さを感じさせる。山村氏の表現力は、この「一隻眼」を通じて、見る者に深く刻み込まれている。



生徒数・学区

平成二一年度の生徒数は一〇八三人で、一年生≡三六〇人(男二〇二・女一五八)、二年生≡三六二人(男二二八・女一四四)、三年生≡三六一人(男二二八・女一三三)。各学年とも九クラス編成で、かつてのような男子だけのクラスはない。

岐阜高校は岐阜学区に属しているが、平成一四年度から実施されている特色化選抜入試に關してのみ隣接学区(西濃・美濃・可茂)からの受験が認められており、特色化選抜入試合格者の中に数名他学区から通う者が含まれている。

部活動

部活動は体育系が一四、文化系が一三、局が二の計二九ある。体育系≡硬式野球、陸上競技、サッカー、バレーボール、バスケットボール、ソフトテニス、水泳競技、卓球、バドミントン、柔道、剣道、軟式野球、テニス、ハンドボール
文化系≡美術、書道、演劇、音楽、文芸、茶華道、自然科学、

E S S・テイベート、調理、写真、囲碁・将棋、吹奏楽、クイズ研究
局≡放送、図書

林間学舎

昭和四三年七月、高山市東飛騨温泉郷の中尾地区、焼岳の麓に建設された林間学舎(友學館)は、鉄筋コンクリート造四階建の宿舍棟と地下一階付の食堂棟などから成っている。地下の浴場には、近くの湯元から引き込まれた硫黄の香りも豊かな良質の温泉が、二四時間溢れ出ている。

友學館では、七月下旬に五団に分かれた一年生が、二泊三日の日程で飯盒炊さん、乗鞍岳登山、キャンドルサービスなどを体験する伝統行事の林間学舎活動が行われている。

なお、この期間後であれば、卒業生が友學館を利用することができる。

朝の読書

毎日SHR後の十分間、全校で「朝の読書」が行われている。この「朝読」は、読書習慣が身

について、苦なく短時間で読書に集中でき、歯ごたえのある評論文や論説文でも読みこなせる能力「読書力」をつけることを目的として行われている。

ジョイントセミナー

〈大学とのジョイントセミナー〉

・目的：大学の先生による専門分野の講義を直接聴講することで、適切な進路選択の一助とするとともに、今後の学習意欲の向上を図る。

・対象：一年生全員
・講義内容：専門分野、および大学で学ぶことの意義について、高校一年生に理解できる程度のもの。

・招聘講師

- 名古屋大学大学院工学研究科 辻 義之 准教授
- 名古屋大学大学院法学研究科 市橋克哉 教授
- 京都大学大学院経済学研究科 黒澤隆文 准教授
- 京都大学大学院農学研究科 高野俊幸 教授

〈ジョイントセミナー at 東大〉

・対象：二年生希望者
(今回の参加者九四名)

・期日：八月六日・七日
・日程
六日 東大本郷キャンパス
・文系・理系の先生による先端学問や研究の紹介
・施設見学

・卒業生の引率による研究室紹介

・卒業生との「先輩と語る会」
七日 東大駒場キャンパス
・自由散策
・学食で昼食

PSセミナー

PSセミナーとは、保護者(Parents)と生徒(Students)が保護者と同世代の講師から人生や職業、社会などについての話を聞くというものである。

九名の講師を招いて開かれた今回のセミナーでは、一年生の各教室で、それぞれのクラスが二名の講師から話を聞いた。

興味深くわかりやすい内容が好評で、実施後の生徒のアンケートでは「有効な行事であった」という意見が大多数であった。

講師の一人、吉村紳一氏から「君がやらなきゃ誰がやる?」と題した在校生へのメッセージを寄稿していただいた。



PSセミナーの
授業風景

在校生へのメッセージ

君がやらなきゃ誰がやる？

吉村 紳一
(昭和57年卒)

皆さんこんにちは。私は現在、岐阜大学病院で脳神経外科医として働いており、日夜、脳卒中治療に携わっています。先日、光栄にも母校の後輩である皆さんに授業をする機会を頂きました(写真)。今回は授業でお話しした「脳卒中治療」のポイントと、私の修業時代を紹介し、皆さんへメッセージを送りたいと思います。

まず脳卒中について簡単に説明します。脳卒中は日本人の国民病と言われるほど多い病気で、死亡原因の第三位、寝たきりの原因の第一位であり、社会的にも重要な疾患です。みなさんの身内や知り合いにもこの病気の方がおられるかもしれません。

脳卒中は前ぶれなく突然起きるのが特徴で、それまで全く元気であった方が、急に倒れてしまふ病気で。脳卒中

をひとたび発症すると、重症の場合には生命を失ったり、重い後遺症が残ったりします。このため発症後、一刻も早く治療を行う必要があります。例えば、くも膜下出血は脳動脈瘤が破裂しておきますが、そのままにしておくと動脈瘤が再破裂するため緊急手術が必要で。開頭手術で動脈瘤の根本にクリップをかける手術(脳動脈瘤クリッピング術)や、血管の中からカテーテル(細い管)とコイルを使って動脈瘤をつめてしまう治療(脳動脈瘤コイル塞栓術)が行われます。一方、脳梗塞に対しては血管をつなぐバイパス手術や、血管を広げる手術が行われますが、最近では、発症後すぐならつまった血管を再開通させる治療も可能となり、精神的に行っています。さらには脳ドックなどで脳卒中の

原因(動脈瘤や血管の狭窄など)を見つけ出し、予防手術で直してしまふことも可能になってきました。興味があれば私のホームページをご覧ください。
<http://www.e-oishasanet/site/yoshinura/index.html>

脳卒中の治療に当たっては、患者さんの命を救い、後遺症ができるだけ出ないようにしなければなりません。患者さんの人生がかかった非常に重要な手術ですし、ミリ単位の正確さを要します。また、脳卒中の治療は多岐にわたり、巨大な動脈瘤を処置する手術もあれば直径0.5ミリの血管をつなぐこともあります。これまで私がどのようにしてその手術技術を磨いたか、皆さんに少し紹介しようと思います。

私は岐阜高校卒業後、一浪して岐阜大学医学部に入學し、卒業後、岐阜大学脳神経外科に入局しました。とにかく自分のようなものが医者になれたのがうれしくて、毎日のように病院に泊まり込んで頑張りました。どんな処置や治

療も見逃さないよう、ちょっとしたでも自分にチャンスが回るようにするためです。当時、自分でできる努力はそれしかありませんでしたし、医療技術を習得するのがうれしかったということもあります。あの時、こういう泥臭いやり方に辟易したのか、同僚に「お前そんなに頑張るけど、脳外科医が手術できるようにするのはどうせ一〇年経ってからだよ」と言われ、今努力してもムダだよ」と言われ、少し悔しい。でも、上手ければミスなく一発で入れられる。患者さんの苦痛を減らすことができるんだから、きつと役に立つはず」と考え、このスタイルは変えませんでした。その後、この点滴の技術は形を変えて、現在のカテーテル治療に見事に活かされました。また、こういった泥臭い努力が指導医の先生達に評価されたのか、大阪の国立循環器病センターで研修するチャンスを頂きました。当時、その価値が自分には十分に分かっていませんでしたが、この国内留学

誌上PSセミナー

在校生へのメッセージ



学は決定的に自分の医師人生を変えました。一流の脳神経外科医と言われる人の指導を受け、その背中を見たことが、知らぬうちに自分を変えたのです。その後は基礎研究でハーバード大学関連病院へ留学したり、ヨーロッパの名門チューリヒ大学で臨床研修を受けたりするチャンスも得ました。そこで得た経験はなにもにも代え難いもので、私の診療技術の向上に大きく寄与しました。ただ、私の診療の原点は大病院の病棟に張り付いていたあのスタイルで、現在も夜間でも急患があれば飛んで行きますし、マインドはあの頃のままのつもりです。

脳卒中の治療では失敗は許されません。ですから技術を磨きに磨くのですが、受験や人生は一度や二度失敗しても、またやり直せるはず。「百折不撓」です。人に笑われても気にせず、自分の目標に向かって頑張ってください。心から応援します。

皆さんの中には将来医師になろうと密かに考えている人

がいます。私はいつも医学生に言っていますが、医師は人を救う、素晴らしい仕事です。医師不足が叫ばれるにはぜひ医師を目指し、私たちとともに歩んで頂きたいと思えます。何か質問や相談がある人は遠慮なくメールを送ってください。

shinichiyoshimura@hotmail.com

また、私の拙い活動をブログに載せていますので、時間があつたら脳外科医の活動をちょっと覗いてみてください。
http://blog.goo.ne.jp/stroke_buster

最後になりましたが、皆さんの高校生活とその後的人生が実りあるものになるよう心から祈っています。友人をたくさん作って高校生活を思い切り楽しんでください。では！

二〇一〇年二月一八日
出張中の神戸にて



吉村紳一先生のホームページより
<http://www.e-oishasan.net/site/yoshimura/index.html>



部活動だより

平成21年度 部活動試合結果等

体育系

部名	活動・試合結果など
硬式野球	県下選抜野球大会 準優勝
陸上競技	県高校新人大会 男子110mH 第3位 後藤(1年) 女子800m 第4位 河島(1年) 砲丸投 第2位 岩下(1年) やり投 第2位 〃 以上4種目3名 東海高校新人大会に出場
サッカー	インターハイ県予選 ベスト16 岐阜地区高等学校総合体育大会 優勝
バレーボール男子	地区高校総体 1回戦 岐阜1-2 清川 県高校新人大会 1回戦 岐阜2-0 関 2回戦 岐阜0-2 岐阜工業 ベスト16
バレーボール女子	地区高校総体 2回戦 岐阜0-2 各務原 県高校新人大会岐阜地区予選 1回戦 岐阜女子に不戦勝 2回戦 岐阜1-2 各務原
バスケットボール男子	地区高校総体 2回戦 岐阜97-54 各務原 3回戦 岐阜72-47 関岐阜 準々決勝 岐阜75-118 岐阜農林 県高校選抜大会 2回戦 岐阜113-55 津津明誠 3回戦 岐阜40-77 岐阜工業
バスケットボール女子	地区高校総体 2回戦 岐阜79-62 済美 3回戦 岐阜43-76 岐阜各務野 県高校選抜大会 2回戦 岐阜43-109 富田
女子テニス	県新人大会 女子団体 第3位 女子ダブルス 村木・金田組 第3位 トヨタジュニアテニストーナメント県予選 ベスト8 金田(1年)
ソフトテニス	県高校新人大会 男子団体 ベスト16 県高校新人大会地区予選 若森・亀岡組 ベスト16 前田・七野組 ベスト32 岡井・廣瀬組 ベスト32 以上県大会出場
バドミントン	県高校新人大会岐阜地区予選 男子団体 1回戦 岐阜3-1 岐阜農高 2回戦 岐阜1-3 各務原西 3位決定戦 岐阜3-0 本巣松陰 岐阜地区3位にて県大会出場決定 男子個人 シングルス 北島 県大会出場 男子個人 ダブルス 北島・永田 県大会出場
水泳競技部	県高校総体 男子200m自由形 第7位 野田(東海大会出場) 100mバタフライ 第8位 木原(〃) 400mリレー 第5位 若井・北川 野田・木原(〃) 女子50m自由形 第6位 服部(〃) 100m自由形 第4位 宮川(〃) 200m自由形 第2位 宮川(〃) 200m個人メドレー 第4位 古澤 第8位 並木(東海大会出場) 400m個人メドレー 第3位 古澤(〃) 400mメドレーリレー 第4位 服部・古澤・宮川・並木(〃) 400mリレー 第5位 宮川・古澤・服部・並木(〃) 女子総合 第5位 県高校新人大会 男子50m自由形 第2位 木原 第7位 北川 100m自由形 第1位 木原 第6位 野田 200m自由形 第3位 野田 100m背泳ぎ 第5位 北川 200m背泳ぎ 第5位 服部 400mメドレーリレー 第8位 服部・齋崎・北川・丸尾 400mリレー 第2位 北川・田口・野田・木原 男子総合 第4位 女子50m自由形 第2位 服部 第4位 宮川 100m自由形 第2位 宮川 200m自由形 第8位 西村 100m背泳ぎ 第5位 服部 400m個人メドレー 第1位 古澤 400mメドレーリレー 第2位 並木・古澤・宮川・服部 400mリレー 第1位 服部・古澤・宮川・並木 女子総合 第2位
軟式野球	地区総体 岐阜1-2 岐阜工業 県高校新人戦 県3位 岐阜6x-5 恵那農 岐阜1-8 多治見北 岐阜8-2 黒崎商
卓球	岐阜地区総合体育大会 女子団体 準優勝 岐阜県新人卓球大会 地区予選 女子団体 優勝 県大会 女子団体 第4位入賞(東海新人大会出場)
剣道	第18回全国高等学校選抜剣道大会県予選 男子団体 2回戦 岐阜3-0 関高 3回戦 岐阜0-4 高山西 女子団体 1回戦 岐阜5-0 関高 岐阜0-2 市岐商 第48回岐阜地区総合体育大会剣道競技 男子団体 第3位 女子団体 予選リーグ敗戦

部名	活動・試合結果など
柔道	地区新人大会 90kg級 優勝 大橋雅樹
ハンドボール	堤杯 岐阜選抜手権 岐阜A11-20 斐大 岐阜B17-18 大垣北B 地区高校総体 岐阜 20-19 岐阜高専 岐阜 9-30 富田 新人戦地区予選 岐阜 20-30 岐阜工

文化系

部名	活動・試合結果など
美術	岐阜地区高等学校美術展 デザインの部 優秀賞 吉川野乃子(2年) 絵画の部 奨励賞 井上月(2年) 県高文芸美術・工作展 デザインの部 優秀賞 吉川野乃子(2年)
書道	国際高校生選抜書展 団体 東海地区優秀賞 個人 入選9名 岐阜県高等学校総合文化祭書道展 個人作品の部 最優秀賞 北川万里那(2年)
演劇	第57回県高校演劇岐阜北地区大会 奨励賞
音楽	第49回岐阜県合唱コンクール シード団体 第62回全日本合唱コンクール中部支部大会「金賞」,「愛知県教育委員会賞」 第62回全日本合唱コンクール全国大会「銅賞」 第76回NHK全国学校音楽コンクール岐阜県コンクール「金賞」 第76回NHK全国学校音楽コンクール岐阜県コンクール 東海北陸ブロックコンクール「金賞」 第76回NHK全国学校音楽コンクール全国コンクール「優良賞」 平成21年度「岐阜市教育委員会賞」受賞
写真部	第63回岐阜県美術展青年部写真部門 入選 藤田(2年) 岐阜県高校写真コンテスト 奨励賞 加藤(2年)
囲碁・将棋	岐阜県総合文化祭 囲碁新人大会 男子個人3位 落合 誠 将棋新人大会 男子個人3位 林 豊一
文芸	平成21年度 第45回岐阜市文芸祭 現代詩 佳作 足立瑞穂(1年) 高文連30周年記念式典 第11回高校生文芸演壇東海近畿ブロック大会に参加し、ワークショップにて2年生部員 山田彩加が代表として自作を発表。平成21年度文芸コンクール部誌部門3位・幹部門1位 山田彩加 3位 青木ゆり
自然科学	生物班 第33回全国高等学校総合文化祭福野古瀬部門文芸連賞受賞 日本生物教育会第64回全国大会茨城大会高校生パネル発表の部優秀賞受賞 第2回全国生物学コンテスト生物チャレンジ2009 第二次試験(国際生物学オリンピック代表選考第二次試験)にて、小嶋一輝(2年)が銅メダルを受賞 平成21年度岐阜市教育委員会表彰受賞 日本産生両種類学会第48回奈良大会(11月7~8日)において、研究発表化学班 日本化学会東海支部高校化学研究発表交流会で研究発表(英語)し、奨励賞、討論賞を受賞 物理班 高文連自然科学系部活動研究発表交流会で研究発表 奨励賞受賞
ESSディベート	高校生英語エッセイコンテスト「審査員特別賞」小森咲季(2年) 新日大第25回高等学校英語弁論大会「奨励賞」小森咲季(2年)
クイズ研究部	第30回全国高等学校クイズ選手権 全国大会出場 平松・辻・鈴木
調理部	岐阜祭では、5種(抹茶、黒ごま、かぼちゃ、レンコン、しょうが)のパウンドケーキを試作のうえ、最良のものができあがり、多くの人に購入して頂きました。
吹奏楽	岐阜県吹奏楽コンクール 大編成の部 奨励賞 麻薬・覚せい剤乱用防止運動 岐阜大会に招待出演

局・その他

部名	活動・試合結果など
放送局	第30回岐阜県放送コンテスト新人大会アナウンス部門 第6位 後藤雅貴(2年)
図書	図書館でカウンター台巻や図書録だより「頭々々な読書三昧」の作成をしています。 12月に図書館講演会、新春1月下旬にカルタ大会を開催します。
家庭クラブ	家族・地域のきずな 全国高校生作品コンクール 優秀賞(手紙・メールの部) 八代結華(1年) 牛乳・乳製品利用技術競技大会岐阜県大会 優秀賞 後藤 仁(1年) 岐阜県粉もん創作グランプリコンクール 奨励賞 村山・稲葉(1年) 「親子で芋もちクッキング」学校近隣の本郷児童センター利用の親子さんとともに岐阜伝統料理の芋もちを一緒に作りました。 「岐阜県学校文化祭お手伝いボランティア」バザー、案内、後かたづけを一緒に行いました。
公民科	第48回 税に関する中高生の作文コンクール 岐阜北税務署長賞 清水里奈(1年)

部活動だより

平成21年度 部活動試合結果等

体育系

部名	活動・試合結果など
陸上	春からのシーズンインに備え、今年度以上の結果が残せるよう沖縄インターハイ、千葉国体に向けて部員31名鍛錬の日々です。
サッカー	県高校新人大大会地区予選 リーグ 岐阜 2-0 富田 各務原西 決勝 岐阜 10-0 笠谷 準決勝 岐阜 2-0 各務原西 県高校新人大大会岐阜県大会 1回戦 岐阜 1-1 高山工 4PK2 2回戦 岐阜 3-2 中津川工 3回戦 岐阜 0-1 帝京可児 県大会ベスト8
バレーボール男子	選抜優勝大会 岐阜県決勝大会 ベスト16 1回戦 岐阜 2-0 関有知 3回戦 岐阜 0-2 郡上 2回戦 岐阜 2-0 郡上北
バレーボール女子	選抜優勝大会 岐阜県決勝大会 2回戦 岐阜 2-0 羽島 3回戦 岐阜 0-2 県岐阜商
バスケットボール男子	県高校新人大大会地区予選 第6位で県大会出場
バスケットボール女子	県高校新人大大会地区予選 第13位で県大会出場
テニス部男子	第63回東海毎日Jr県予選U18 男子ダブルス ベスト8 野原・山田
テニス部女子	第12回高体連テニス部強化合同練習会 女子ダブルス 第3位 村木・金田 第63回東海毎日Jr県予選U18 女子ダブルス ベスト8 村木・金田
ソフトテニス	地区高校室内大会 男子 前田・七野 ベスト8 横山・若森 ベスト16 女子 花村・吉田 2回戦進出
バドミントン	県高校新人大大会岐阜県大会 男子団体 1回戦 岐阜 3-0 郡上 2回戦 岐阜 0-3 県岐阜商 男子個人 シングルス 北島宏輝 2回戦で敗退 (ベスト16) ダブルス 北島宏輝・永田勝也 2回戦で敗退 (ベスト16)
卓球	県高校新人大大会 男子団体 1回戦 岐阜 3-0 高山工業 2回戦 岐阜 0-3 中京 女子団体 2回戦 岐阜 3-2 加茂 3回戦 岐阜 3-2 岐阜総合 (県ベスト4入賞) 東海高校新人大大会 女子団体 予選リーグ敗退 全国選抜大会岐阜県予選 女子個人 矢野友里恵 準優勝 山田瑞穂 ベスト8入賞
剣道	第19回全国高等学校剣道選抜大会岐阜県予選 男子団体 1回戦 岐阜 3-1 大垣工 2回戦 岐阜 4-1 本巣松陽 3回戦 岐阜 1-3 大垣北 女子団体 1回戦 岐阜 0-4 中京 ベスト16 惜敗
柔道	県高校新人大大会兼高校選手権県予選 男子団体 ベスト16 女子団体 ベスト16 男子個人 90kg級 準優勝 大橋雅樹 (2年)

文化系

部名	活動・試合結果など
美術	第30回大垣市ジュニア油絵展 奨励賞 島平 春奈 (1年) 羽島市美術展 青年の部 優秀賞 吉川野乃子 (2年)
書道	第19回各務原市高校生美術展 最優秀賞 小島 沙帆 (2年) 優秀賞 田添 佳歩 (2年) 羽島市美術展「青年の部」 奨励賞 田中 律子 (1年) 優秀賞 小川万里那 (2年) 優秀賞 橋本依里香 (1年) 本巣市美術展 優秀賞 小森 結衣 (2年) 優秀賞 深見 瑞季 (1年) 優秀賞 嶺部 珠理 (1年) 奨励賞 長瀬・泉 (1年)
写真	県総文祭 写真展 奨励賞 水野真里 (2年)、藤田はるか (2年)、松田章秀 (2年)
演劇	県総文祭 岐阜北地区合同公演 脚本賞
音楽	第20回さぶウォーカルアンサンブルコンテスト (出場3チームとも入賞) ・あんどーなつ (女声) 「金賞」 ・Do-Do-鳥 (男声) 「銀賞」 ・楽しいユーミン一家 (混声) 「銀賞」
文芸	卒業式前の部誌『Lotos10』発行に向けて「企画作品」と「個人作品」の作成、お互いの作品の合評に励んでいます。
自然科学	生物班 日頃の研究活動・自然保護活動に対して岐阜市教育委員会表彰を受賞。 3月に東京大学で開催される日本生化学会の発表に向けて研究成果をまとめています。 化学班 塩化ナトリウムの融解電解に挑戦中です。 物理班 固体・液体・気体中の音速測定をテーマに研究しています。
茶華道	〈茶道〉 平成21年度「学校茶道エッセイ」茶道裏千家 淡文会総本部 学校茶道部 佳作 立川優果、細川慶子、矢口千尋、吉田紗友里 〈華道〉 「華道則天門」の許状 (初佐・中佐) を取得。
吹奏楽	岐阜県アンサンブルコンテスト地区大会 金賞 フルート三重奏、クラリネット八重奏、サクソフォン八重奏、打楽器五重奏 銀賞 フルート三重奏、木管八重奏、金管八重奏ABC 岐阜県アンサンブルコンテスト県大会 銀賞 打楽器五重奏 銅賞 サクソフォン八重奏
ESSイベント	岐阜国際教杯「第11回高校生スピーチの集い」 特別賞 安藤 萌 (1年)

局・その他

部名	活動・試合結果など
放送	第30回岐阜県放送コンテスト新人大大会 アナウンス部門 第6位 後藤雅貴
図書	12月11日、14日に本校職員を講師に招き、図書館講演会を実施。1日目は化学の岡部先生による「筑豊をめぐる～石炭と御三家(貞島、安川、麻生)」 2日目は世界史の渋谷先生による「昔で楽しむ歴史」 新年1月22日には恒例のカルタ大会 (百人一首と本カルタ) を実施。
家庭クラブ	第10回岐阜県鶏卵・鶏肉料理コンクール 優良賞 早崎詩織 岐阜県体おもてなし料理コンクール 入選 川窪 藍 1月27日、岐阜県立図書館に点字による図書案内カードを1年生全員分360枚を寄贈しました。

音楽部 演奏会 入場無料
第12回

- と き/平成22年3月22日(月・祝)
14:00開演 (13:30開場)
■I部 NHK・全日本合唱コンクール全国大会報告演奏
■II部 「新しい歌」
■III部 たのしいコーラス
■IV部 混声合唱と2台のピアノのための交響詩「海」
■ところ/サラムカホール

吹奏楽部 定期演奏会 入場無料
第5回

- と き/平成22年3月27日(土)
13:30開演 (13:00開場)
■曲 目/「アトランティス」「天地人」
「美女と野獣」
「デーブーパープル」他
■ところ/羽島市文化センター 大ホール

平成22年度 大学合格者数（浪人含）

大 学 名	合格者数	大 学 名	合格者数	大 学 名	合格者数
北海道大	2	横浜市立大	1	早稲田大	42
東北大	2	岐阜県立看護大	1	麻布大	2
筑波大	2	岐阜薬大	16	神奈川大	2
千葉大	2	愛知県立大	2	金沢医大	1
お茶の水女子大	2	愛知県立芸大	1	金沢工大	3
東京大	23	名古屋市立大	12	朝日大	1
東京外大	4	大阪府立大	4	岐阜聖徳学園大	12
東京芸大	1	兵庫県立大	1	岐阜医療科学大	3
東京工業大	2	九州歯大	1	愛知大	10
東京農工大	3	獨協医大	1	愛知医大	5
一橋大	2	獨協大	1	愛知学院大	5
横浜国立大	6	青山学院大	13	愛知工業大	1
富山大	2	学習院大	2	愛知淑徳大	10
金沢大	7	北里大	2	金城学院大	6
福井大	2	杏林大	2	椙山女学園大	4
信州大	3	慶応大	39	中京大	15
岐阜大	44	国際基督教大	3	名古屋音大	1
静岡大	3	上智大	11	名古屋外大	2
浜松医大	1	女子栄養大	1	名古屋女子大	1
名古屋大	26	成城大	1	南山大	91
名古屋工大	11	専修大	2	藤田保健衛生大	8
三重大	2	創価大	2	名城大	30
滋賀大	5	中央大	28	京都外大	2
京都大	22	津田塾大	4	京都女子大	1
大阪大	22	東海大	1	京都薬大	4
神戸大	3	東京女子大	2	同志社大	83
奈良女子大	1	東京薬大	1	同志社女子大	2
鳥取大	1	東京理大	39	立命館大	95
鳥根大	1	東邦大	1	大阪医大	1
岡山大	1	東邦大	1	関西大	2
広島大	2	日本大	3	関西医大	1
徳島大	2	日本女子大	2	近畿大	3
愛媛大	1	法政大	8	関西学院大	11
高知大	1	東京都市大	2	産業医大	1
九州大	1	明治大	22	防衛大学校	1
長崎大	1	明治学院大	1		
首都大東京	1	立教大	5		

邦楽演奏

一、連調「鶉の段」

謡 玉木信久 玉木敏夫 小林 瞳 杉山善宏
 小鼓 田中邦男 玉木啓子 萩原かづみ 吉田耕造

二、連吟「勸進帳」

弁慶 玉木信久
 富樫 小林 瞳
 地謡 玉木敏夫 杉山善宏

三、長唄素囃子「末廣狩」

特定非営利活動法人 花の会

小鼓 福田七海

本荘小学校四年生
大祖父・河合 尚(S二六年年卒)

小鼓 齋藤あかね

長良東小学校五年生

小鼓 久富稜介

城西小学校四年生

小鼓 宮田真奈

岐阜小学校六年生

小鼓 田中大覚

岩小学校四年生

小鼓 林万純

長森中学校一年生

小鼓 鈴木大河

祖父・高木嘉介(S一九年年卒)

小鼓 林千里

祖母・尾崎きみ(S二七年年卒)

小鼓 山口菜々花

岐阜大附属小学校五年生

小鼓 土谷 瞳

長森中学校一年生

小鼓 村瀬亜実

明徳小学校五年生

小鼓 浅野朱音

精華中学校二年生

大鼓 松本沙織

祖父・村瀬善紀(S一九年年卒)

大鼓 徳永大弥

父・浅野慎司(S五五年年卒)

太鼓 辻日向

岐阜大附属小学校五年生

太鼓 武山莉子

芥見東小学校六年生

..... 離子指導

菊長會主宰 住田 尚子

青木喜久次

..... 演奏協力

住田さくの

加藤 恵子

小野崎隆賢



特定非営利活動法人 花の会

花の会では小学生を対象に歌舞伎・舞踊に用いられる鳴物(長唄囃子)を体験する約20回の講座を通じて、鼓・太鼓の技能的習得をはじめ、それに伴う作法や教養といった精神的な修養をも目指した伝統文化を「次世代へつなぐ」事業として「ぎふ子ども鼓・太鼓教室」を実施致しております。



玉木 信久さん
(昭和42年卒)

岐阜県邦楽連盟理事長
岐阜邦楽三曲会会長
観世流謡曲「玉昭会」代表



(山岳空撮スライドショー)

瀬尾 央(Hiroshi Seo) 日本航空写真家協会会長

昭和23年岐阜市生まれ。昭和42年岐阜高校卒。慶応義塾大学在学中からフリーの写真家として活躍。のちに航空関係の撮影が主になる。最近は自家用動力滑空機を駆使し、日本列島各地の風景の空撮に精力的に取り組んでいる。年刊滑空誌『TURN POINT』編集長兼代表者。

岐阜県は日本のほぼ中央に位置する内陸県で、飛騨地域には奥穂高岳、槍ヶ岳、乗鞍岳など標高3000mを超える山々が連なっています。私たちが豊かに育ててくれた長良川は、大日岳、見当山、鷲ヶ岳の山岳を水源として南流し、太平洋に注いでいます。今回はそうした源流に位置する大日連峰を初めてとした岐阜県の美しい山々、そして日本各地の山岳風景を空から撮影したスライドを、皆様にご紹介させていただきます。

ご協賛いただいた皆様方

協賛広告の他にも下記の多くの皆様方のご協賛をいただきました。

森川 幸江

竹浦 八千代

近藤 礼子

長谷部 元靖

篠田 陽子

記載順は卒業年次です。

ご協賛心より御礼申し上げます。

平成二二年度總會出席者名簿

●來賓

恩師

岐阜県知事

作山 英雄

昭和19年卒

昭和22年卒

古田 肇

近松 隆夫

栗野 道男

山本 修

岐阜市長

早川 裕子

井戸 豊彦

昭和23年卒

細江 茂光

渥美茂四郎

加納宏一郎

岡本太右衛門

各務原市長

生田 久尚

高賀 登

村橋 敏博

森 真

高田 晃

高橋 定一

高橋 利成

海津市長

網野 俊六

富成 侑彦

近松 隆夫

松永 清彦

日比野安平

服部準之助

昭和21年卒

衆議院議員

河村 泰子

服部準之助

昭和21年卒

柴橋 正直

伊藤 俊一

真野 哲

昭和14年卒

旧藍水くらぶ会長

伊藤 俊一

松尾 正寿

昭和14年卒

村瀬喜代子

伊藤 俊一

真野 哲

昭和20年卒

在京同窓会会長

昭和15年卒

榊原 和彦

鎌倉美江子

宮本悠美子

翠 忠明

杉山 幹夫

木村 博子

岐阜高校校長

信田 秀明

高橋 重郎

長原 千鶴

田村 弘司

安井 孝

森 俊治

野田 公子

安井 孝

藤井 とく

林 綾子

昭和26年卒

安井 孝

米山 宣子

太田 經子

江崎 攝

安井 孝

遠藤 由子

今尾 桂子

昭和31年卒

安井 孝

浅野 宗平

山田 喜久

安井 孝

柳原 昌子

矢崎 侑子

安井 孝

福田 侑子

林 伸好

安井 孝

山田 喜久

浅野 宗平

昭和31年卒

安井 孝

江崎 攝

太田 經子

昭和26年卒

安井 孝

遠藤 由子

今尾 桂子

昭和31年卒

安井 孝

浅野 宗平

山田 喜久

昭和31年卒

●会員

〈岐阜中〉

昭和9年卒

河合 幹

伊藤 良治

昭和20年卒

坂井 熙

川島 恒夫

山本 千穂

昭和22年卒

旧藍水くらぶ会長

足立 美代

池戸美代子

昭和16年卒

村瀬喜代子

伊藤 俊一

真野 哲

昭和22年卒

在京同窓会会長

伊藤 俊一

松尾 正寿

昭和14年卒

宮本悠美子

伊藤 俊一

真野 哲

昭和20年卒

岐阜高校校長

伊藤 俊一

松尾 正寿

昭和14年卒

安井 孝

伊藤 俊一

真野 哲

昭和20年卒

安井 孝

伊藤 俊一

松尾 正寿

昭和14年卒

安井 孝

伊藤 俊一

真野 哲

昭和20年卒

安井 孝

伊藤 俊一

松尾 正寿

昭和14年卒

安井 孝

伊藤 俊一

真野 哲

昭和20年卒

安井 孝

伊藤 俊一

松尾 正寿

昭和14年卒

昭和19年卒

昭和27年卒

加藤富美子

加藤 公子

鬼頭 和子

今尾みきえ

河尻比佐子

金武 恭

桑原 信子

木下清二郎

熊田きみ子

小塩 敦子

小牧 佳子

國島 忠雄

桑原 由忠

高見 良治

白木 淑子

小谷 明

後藤 澄子

戸本 播郎

田代 里江

中島 三恵

後藤 康彦

野々垣 孝

深貝喜代子

平野 英嗣

坂井 聖子

松島 清子

福井 英子

福井みのり

佐藤 孝一

松原 武徳

本多美智子

村瀬 義之

杉本美智子

武藤 和子

松山千鶴子

昭和28年卒

杉山すみ子

横山 和永

笹本 悦子

小林 元一

大宝 俊明

吉村 絹子

鷺見 淑子

昭和29年卒

竹腰 洋子

昭和32年卒

池戸美代子

熊崎 明世

戸崎 峯子

岩田 恵子

坂井田和子

清水 外治

長房香代子

恩田 博宣

昭和22年卒

安江 紀子

成瀬 恒子

恩田 洋子

村瀬喜代子

渡辺イキ子

布目 絢子

河村多美子

山本 千穂

芳賀加津美

小瀬木恵子

小瀬木恵子

昭和23年卒

真野なを子

清水 勝

杉山 和子

鬼石ヒサ子

浅野 厚子

宮澤とし子

千賀小夜子

昭和24年併中卒

安達 博

安田多賀子

辻井喜久子

遠藤 允子

矢野君代子

林 伸好

林 伸好

川島千夜子

脇原依佐子

福田 侑子

福田 侑子

伊藤 英子

井戸参拾湖

矢崎 侑子

矢崎 侑子

今尾 桂子

浅野 宗平

山田 喜久

山田 喜久

昭和26年卒

江崎 攝

太田 經子

太田 經子

安井 孝

遠藤 由子

今尾 桂子

今尾 桂子

安井 孝

浅野 宗平

山田 喜久

山田 喜久

安井 孝

浅野 宗平

山田 喜久

山田 喜久

安井 孝

浅野 宗平

山田 喜久

山田 喜久

總會出席名簿

村瀬 孝夫	藤浦 規子	藤井 孝一	丹羽 斌	新田 隆	西澤 節子	中島 礼子	鷺見 貴江	小島 秀俊	金武 和彦	加藤 雅子	小川 弘	植松 光尋	井川 博子	天野 桂子	昭和34年卒	吉村英太郎	森 喜孝	松久 弘子	西澤 恭平	高安 義英	高橋千寿子	亀山美代子	金山 良典	葛西 孝子	大脇 聖子	昭和33年卒	森 真	安田 仁彦	青木 健	山田 謙一	山田 哲朗	青木 一	加藤啓二郎	竹浦八千代	船渡 清		
		山田 富保	古谷 葉子	寺島 健	尾関 良平	岡本 文吉	昭和37年卒		水谷 雅昭	三口 雅紀	澤田 尚子	佐野 実	大谷 正昭	昭和36年卒		山田 正	安田洋一郎	平塚 正之	武内 章	角田茉瑳子	岩佐 充矩	安藤 誠彦	昭和35年卒														
森川 幸江	松山 英一	平光 孝司	田中 常隆	高橋 泰之	関谷 幸平	澤田 栄子	後藤 郁夫	衣笠 宏允	大松 利幸	岩井 弘栄	石原 隆昌	昭和40年卒		松永 清彦	昭和39年卒	山田 大	森嶋 靖雄	宮崎 千恵	中谷 克彦	高橋 秀法	篠田 裕司	小寺 忠	葛谷 武彦	青木 健	昭和38年卒												
吉田 啓子	横山 仁美	横森 俊雄	柳原 康宏	宮崎 幸雄	水谷 邦照	古田 肇	広瀬 哲男	平工 光子	新美佐知子	長縄 伸幸	田中 和也	関谷 均	後藤 成生	後藤 真一	小島 幸子	小石千代子	桐山 直泰	兼山 瓊典	小川 宗治	江崎 雅康	岩砂 三平	犬飼晋一郎	石井 正志	昭和41年卒													
加藤香代子	片山 良広	小里 学	小川 一平	岡本 和夫	岡部 修	小川眞里子	小笠原文雄	大野 博良	大野 耕平	大野興四郎	大沢 守	梅田 節子	上野 文宣	岩田 利子	岩田 潤三	井上あけみ	伊藤かほる	市川 治徳	石原 敏秀	池田佳世子	生田 彰	安藤眞理子	荒木登茂子	安倍 彰	浅野 文子	青木 一	昭和42年卒										
滝 雅夫	高橋 立夫	高橋 健次	高橋 邦之	瀬古 良隆	瀬川 和朗	瀬尾 央	鷺見 千春	鷺見多津子	杉原 五郎	杉戸 千洋	住 明正	白木 久史	白石三重子	柴田 康秀	後藤 三郎	後藤加代子	幸田 守康	木村眞知子	木方 慶一	北洞 時子	北洞 哲治	川村 啓子	亀山 秀敏	金川 昇平	加藤 博	加藤 謹矢	加藤啓二郎										
伏屋 芳文	平野 泰朗	平田 滋子	平澤 泉	正田 幹男	半田喜久美	播本 佳郎	林 伸朗	林 順一郎	服部 眞治	橋本 章	則竹 晶	信田 朝次	野田 豊範	西松 輝高	西部 健次	中山 恭一	中根 理記	中島 義和	中島 幸宣	戸部 直清	寺島由美子	坪井千賀子	恒川 量嗣	玉木 信久	田中真知子	田中多栄子	竹浦八千代										
山崎香代子	山口 隆士	山口 英明	山川 博己	八幡 純子	柳瀬 秀治	森 万里子	森崎 忠幸	本橋 令子	三輪 正康	箕浦 洋和	水谷 啓嗣	松本富美子	松久喜美子	松野 泰男	松野 康衛	松尾 正恵	松浦以津子	増本 静子	本田 英子	堀 裕子	堀谷登美子	堀部 俊治	堀 昭和	堀江 正明	細江 茂光	古川 敏雄	船渡 清										

山田 賢治	山田 住夫	山田 幸永	山田 良治	横山 惠一	吉田 哲朗	米田 滋夫	渡邊 伸子	昭和43年卒	伊藤 茂泰	小川 順子	奥長さゆり	形見 武男	鎌倉 充夫	佐藤 修造	杉山 恵子	鷺見 守昭	瀬川 順子	高井 直樹	棚瀬 直美	玉井 直	玉木 隆	中島 王子	那須真理子	西部 啓司	長谷川比登美	日比野 広子	
広瀬 裕憲	村瀬 秀子	山田 貴明	昭和44年卒	昭和46年卒	河村 都以	星屋 秀幸	木方伸一郎	木村 容子	坂田 文雄	鹿野 孝紀	鷺見 博信	関谷 啓子	堀 英子	松岡 力	昭和47年卒	若園 重雄	昭和48年卒	坂井田 勉	鹿野 哲夫	富田 英治	細江由喜子	森本富貴子	蓑島 伸生				
昭和49年卒	恩田 一光	杉本 尚子	杉山 正裕	橋詰 芳範	水野 耕司	昭和50年卒	青木 孝彦	大倉 光弘	下川 治	園部 利彦	高木 寛治	中原 鍊三	松波 英寿	昭和51年卒	出口 和宏	鳥澤 英紀	平田 直彦	広瀬 泰昭	昭和52年卒	青木 豊榮	麻田 尚宏	浅野 純一	浅野 祐史	東 真人			
阿部 明美	安藤 智子	石樽 一博	磯野 美志	伊藤 辰也	稲川 幹夫	稲葉 友紀	井深 康弘	岩田 英樹	上村 一幸	宇佐美 了	塩谷 佳子	大坪 成生	大野 美紀	大橋 弘雅	岡部 英司	奥村 行雄	小栗 正敬	小野 精三	加藤 伸一	河合 和彦	川島 均	久保 裕	熊崎 靖子	小池 明美	小島 貴子	小島 武彦	五島ます美
小島まゆみ	小寺 雅之	小林 政人	小林 美雪	近藤 展央	佐伯 正人	坂井田 実	坂口 康道	坂 智子	佐々木信英	鈴木 智子	鈴木 憲幸	鷺見 澄子	鷺見 誠司	関谷 賢市	宗宮 英雄	高井 暢子	高橋 弘子	高橋美智子	竹内香代子	田口弥生子	武田 貢	田中真由美	棚橋 尚子	谷 哲成	田村 典子	坪内真由美	出口 京子
豊田 哲也	豊田 光昭	中島 恭子	中山 真紀	夏目ゆかり	那波かおり	新村 裕幸	西垣 和彦	西田 二朗	野尻 悟	野田 俊之	野原 正美	萩原 敏也	長谷川美幸	服部 和樹	林 孝行	林 英雄	バルタザール裕美	久松 明美	平光恵美子	広瀬 典子	廣瀬 守克	尾藤 米宏	福井 和彦	福富 茂美	藤原 茂由	伏屋 龍夫	古川 啓子
古田 万紀	堀 道一	松波 和寿	松野みどり	松葉 恭子	真野 由紀	眞野 芳宏	水谷 透	箕浦 智子	宮崎 郁代	武藤 和典	村上 啓雄	森崎三起子	山北 正宏	山田正以智	山田 裕子	吉田 裕二	昭和53年卒	石原 佳洋	市川 篤丸	岩沙 克尚	上松 憲	梅田 好夫	奥田 孝	香田 和宏	川上 浩一	近藤 信悟	
近藤 万知	鹿野 智美	篠田 圭司	竹中 浩一	中石 俊哉	中村 繁	野々垣裕治	平井 克昭	松井 千昭	安井 典子	吉田万里子	吉野 功二	昭和54年卒	澤田 学	杉山 文康	昭和55年卒	中西 謙司	森 正	昭和57年卒	松岡 正人	昭和61年卒	大野 孝	早川 徹	山内 康史				

總會出席名簿

北川 千晶	川崎 賢二	可児 晃	梶田 晋吾	恩田 誠	折居 恒治	小野 裕子	尾関 孝輔	小栗 茂雄	小川 康則	小川 忠久	大橋 昭敬	大西 伸介	塩谷 晃樹	江崎 裕子	岩村 豊正	井上 英之	糸尾 幸治	伊藤 裕史	伊藤 俊幸	市原 昌文	石川 洋	石川 高文	井口 透	飯田 祥子	荒山 徳統	浅井 智世	昭和62年卒
日比野卓也	肥後 志保	林 俊弥	早川 悟史	橋詰 慈洋	西脇 武志	西尾 公利	永田 和久	中田亜希子	中條 武秀	中神 啓徳	内藤 哲爾	土屋 緑	谷村 憲一	田中 宏樹	田代 慎一	竹内 秀行	高平 啓	高瀬 浩子	鈴木 庸子	杉山三知代	澤田 大輔	サンソン美和	後藤 純子	神山 英臣	栗本 仁美	熊崎 篤志	木村 陽介
岩田 幸子	岩井 邦子	井上 祐一	井上 直子	飯田 豊	昭和63年卒	依田 憲幸	吉村 拓郎	吉田早都美	山田 徹	山田 達男	森崎 成城	村田 博之	武藤 宏昭	武藤 孝	丸山 貴子	真鍋 隆	松葉 岳哉	松波 辰哉	松波 和徳	松田 太志	松尾 真吾	増永 修平	増木 宏徳	古田 久子	古田志乃雅	福島佳代子	
長瀬 嘉子	上野 千晴	平成2年卒	山本 昌督	平成元年卒	山岸 直子	花田 貴之	長尾 博	戸田早映子	戸崎慎太郎	徳田 玲子	寺村建一郎	土屋知沙杜	高橋 誠治	鈴木 豊	杉山 範子	後藤由香子	後藤 直子	後藤 直子	後藤 直子	後藤 直子	後藤 直子	後藤 直子	後藤 直子	後藤 直子	後藤 直子	後藤 直子	宇留野尊広
藤川 貴雄	堀江八千代	柴橋 正直	宇野 正志	平成10年卒	平成9年卒	平成11年卒	平成13年卒	平成5年卒	平成3年卒	浅野新一郎	折戸 恵介	濱野 正嗣	林 達秀	松本 健巳	森島 祥哉	矢内 良昌	井戸 真司	鈴木 康也	中田 智数	中田 智数	鈴木 康也	井戸 真司	平成5年卒	平成3年卒	平成3年卒	平成3年卒	平成3年卒

岐阜県立岐阜高等学校 校歌

作詞 松平 静

作曲 伊藤栄治



せ じんのたけ きんかざん ひゃくりのみずな がらがわ
が かいのなみ あらくとも きぼうのきしと おくとも



か ようのけんじ ここにうまれてこっかのためにあけくれまなぶ
か ようのけんじ こころおおしくひやくせつふとうつとめてやまず



ふ るへ ふ るへ ほこるさいこのれきしある わがこーこーの



ほまれをばあげよ もろびともろともーに

千仞の嶽	金華山	学海の波	荒くとも	希望の岸	遠くとも	華陽の健児	心雄々しく	百折不撓	つとめて止まず	奮へ	奮へ	誇る最古の	歴史ある	我が高校の	榮れをば	挙げよ諸人	諸共に
------	-----	------	------	------	------	-------	-------	------	---------	----	----	-------	------	-------	------	-------	-----

岐高女校歌

一、ああすめらみ國 榮ゆるみ代に
われら起女 生れあひたる章
胸の鏡と 日々にあふく
教への道の 勅語

二、見よ稲葉山の 姿は高し
われら起女 高く心を保たむ
國の御為に 人の為に
力のかぎり つくせはや

三、きけ長良川の 瀬の音は清し
われら起女 清く心とみかかむ
はけみいそしみ 探かたく
明るき微笑 うつくしく

姫小松

一、学びの庭の 姫小松
千代の襟に たぐ(つゝ)
植ゑしその日のめぐりきぬ
いせや祝わん 諸共に

二、恵みのつゆに うろおし
みとりゆかしき 姫小松
いよよますまきしけし
千代に八千代にせかえちらん

藍水くらぶ

高木 あい筆

姫小松(創立記念日の歌)



岐高女 校歌



岐 阜 県 民 の 歌

作 詞 永 縄 半 助
作 編 曲 服 部 正

Allegro Moderato

Vocal

Piano

mf 爽やかに流れて

み ね 花 山 小 鳥 朝 日 輝 け ば 岐 阜 県 民 の 歌
み ね 花 山 小 鳥 朝 日 輝 け ば 岐 阜 県 民 の 歌
み ね 花 山 小 鳥 朝 日 輝 け ば 岐 阜 県 民 の 歌

み ね 花 山 小 鳥 朝 日 輝 け ば 岐 阜 県 民 の 歌
み ね 花 山 小 鳥 朝 日 輝 け ば 岐 阜 県 民 の 歌
み ね 花 山 小 鳥 朝 日 輝 け ば 岐 阜 県 民 の 歌

み ね 花 山 小 鳥 朝 日 輝 け ば 岐 阜 県 民 の 歌
み ね 花 山 小 鳥 朝 日 輝 け ば 岐 阜 県 民 の 歌
み ね 花 山 小 鳥 朝 日 輝 け ば 岐 阜 県 民 の 歌

岐阜県民の歌

- 一、みどりをそめて 朝の日は
高い梢に ゆれている
嶺から嶺へ 小鳥もよんで
岐阜は木の国 山の国
伸びる希望を うたおうよ
- 二、つづく平野の 雲遠く
虹のいろ もえている
村から街へ 生気に映えて
岐阜は野の国 幸の国
力むすんで はげもうよ
- 三、名所史蹟に 風かおり
花ももみじも 鶺鴒かがりも
かがやく文化に 色そえながら
岐阜は詩の国 水の国
はずむ心で 進もうよ



ぎふ清流国体・ぎふ清流大会ソング

はばたけ、未来へ



作詞・作曲：古川 今 (補作詞：小島 紀夫)
編曲：沢田 完

Intro-1

かがやけは - はたけ だれもが - しやく

あ - のかぜ に のって つ - ばさひらげよう - かがやけは

- はたけ だれもが - しやく キ - うきうと ひかる

み - らいに とびた と う

ほれわたるひにも ほしふるよるにも せらに -
きよらかながらも つつめちかたも みるに -

えがいた - あのゆめは - だいじょうぶだよ -
きらめく - あのゆめは - だいじょうぶだよ -

みてごらんせらも あすも - しんじて - さあゆこう
みてごらんせらも につけて - みるよ - さあゆこう

ひとみとじれば - ふるさとがほら -
あみあみすれば - ふるさとがほら -

やさしくわ - らうと エナモが - おどろ
おうえんし - てると エナモが - うたう

そのてにゆ - うさと こころに - あいを い - ませら

をかける あ - なたが さいこう - かがやけは - はたけ

だれもが - しやく キ - うきうと ひかる み - らいに

とびた と う

かがやけは - はたけ あなたが - しやく

あ - のかぜ に のって つ - ばさひらげよう -

かがやけは - はたけ だれもが - しやく

キ - うきうと ひかる み - らいに とびた と

う - Ah Gift for you

Ah Gift for you

輝け はばたけ だれもが主役
あの風によって 翼ひろげよう
輝け はばたけ だれもが主役
キラキラと光る 未来に飛びたとう

1) 晴れわたる日にも 星降る夜にも
空に描いた あの夢は
だいじょうぶだよ 見てごらん空を
あすを 信じて さあゆこう

瞳閉じれば ふるさとがほら
優しく笑うと ミナモが踊る

その手に 勇気と 心に愛を
いま空を翔る あなたが最高
輝け はばたけ だれもが主役
キラキラと光る 未来に飛びたとう

2) 清らかな流れ 見つめて誓った
水に煌めく あの夢は
だいじょうぶだよ 見てごらん空を
虹を 架けるよ さあゆこう
耳をすませば ふるさとがほら
応援していると ミナモが歌う

その手に 勇気と 心に愛を
いま空を翔る あなたが最高
輝け はばたけ だれもが主役
キラキラと光る 未来に飛びたとう

輝け はばたけ あなたが主役
あの風によって 翼ひろげよう
輝け はばたけ だれもが主役
キラキラと光る 未来に飛びたとう
Ah - GIFT FOR YOU
Ah - GIFT FOR YOU



2012
ぎふ清流国体

輝け はばたけ だれもが主役

第67回国民体育大会

冬季競技会：スピードスケート2012年1月28日(土)～1月31日(火)
スキー 2012年2月14日(火)～2月17日(金)
本大会：2012年9月29日(土)～10月9日(火)

2012
ぎふ清流大会

輝け はばたけ だれもが主役

第12回全国障害者スポーツ大会

会期：2012年10月13日(土)～10月15日(月)

平成22年度 岐阜高校同窓会総会運営委員会委員名簿

担当部門	卒年	氏 名				
運営委員長	42年	小笠原文雄				
運営副委員長	42年	滝 雅夫	細江 茂光			
	52年	松波 和寿				
	62年	松尾 真吾				
事務局	42年	小笠原内科(堀江八千代:H11年卒)				
総務部	42年	◎市川 治徳	○信田 朝次	○後藤 三郎	山口 隆士	米田 滋夫
		堀江 正明	幸田 守康	柳瀬 秀治	鷺見 千春	真鍋 卓郎
	52年	○野原 正美	西田 二郎	村上 啓雄	小島まゆみ	
	62年	○澤田 大輔	森崎 成城			
財務部	42年	◎加藤 博	○岩田 潤三			
	52年	○塩谷 佳子	鈴木 智子			
	62年	○川崎 賢二	小川 忠久			
監査	42年	岡本 和夫	岩砂 直子			
会報部	42年	◎信田 朝次	○堀 裕子	森 万里子	田中多栄子	浅野 文子
		玉木 信久	大澤 守	川村 啓子	粕谷 志郎	瀬川 和朗
		杉戸 千洋				
	52年	○浅野 純一	水谷 透	伊藤 辰也	豊田 光昭	
	62年	○松波 和徳	福島佳代子	内藤 哲爾		
広告部	42年	◎滝 雅夫	○加藤啓二郎	○戸部 直清	堀部 俊治	小川 一平
		寺島由美子	林 伸朗	丹羽 利廣	西部 隆雄	関谷 司
		藤掛 晶久	高橋 健次	松野 泰男	山田 賢治	恒川 量嗣
		橋本 章	伏屋 芳文	榊原 敏夫		
	52年	○石樽 一博	野田 俊之	東 真人	豊田 哲也	宇佐美 了
	62年	○武藤 孝	村田 博之	田代 慎一		
動員部	42年	◎箕浦 洋和	○木方 慶一	○杉戸 千洋	川村 啓子	岩田 利子
		山田 良治	池田佳世子	真鍋 卓郎	白石三重子	小里 学
		堀田 博門	小川眞里子	亀山 秀敏		
	52年	○関谷 賢市	高橋 弘子	松野みどり	古田 万紀	平光恵美子
	62年	○早川 悟史	江崎 裕子	肥後 志保	高平 啓	中田亜希子
在京動員	42年	○大野 博良	中島 義和	大脇興一郎	住 明正	
会場部	42年	◎山田 住夫	○中島 幸宣	鷺見多津子	山田 幸永	平田 滋子
		松久喜美子	高橋 利蔵	林 順一郎	森崎 忠幸	中根 理記
		上野 文宣	直野 政好	渡邊 伸子	澤田 裕治	安藤 充男
		野田 豊範	高瀬 敏男	岡部 修	大野 耕平	播本 佳郎
	52年	○坂井田 実	坪内真由美	福井 和彦	堀 道一	岩田 英樹
	62年	○荒山 徳統	山田 達男			

◎部長 ○副部長

編集後記

平成二十二年岐阜高等学校同窓会「会報」をお届けします。この会報誌編集に当たっては、巻頭挨拶文をお寄せいただいた方々、恩師や同窓生、母校事務局の先生方など、多くの皆様にご協力、ご支援をいただきました。厚くお礼申し上げます。

今年度の会報誌は、岐阜高校の歴史の一端を紹介する二つの特集や、一〇〇年以上にわたる校舎の変遷を写真で追ったカラーページ、大正生まれの方から平成の卒業生まで多くの方が原稿をお寄せくださった「同窓生寄稿」、そして現在の岐阜高校の姿の紹介に力を入れ、盛りだくさんなものとなり、本文ページが一〇〇ページを上回る結果となりました。

岐阜中学の華陽会の会報『華陽』百號（昭和二年刊）についての特集では、当時の貴重な写真や資料の一部を紹介することができました。また幕を閉じた藍水くらぶの回顧特集を通じて、様々な思いを抱かれる方も多いことでしょう。

同窓生寄稿については、岐阜で活躍中の方からはもちろん、日本中から、そして世界から原稿が届き、幅広い年代の方々の、多様な内容の文章を掲載することができました。皆様から深い熱い思いがあふれる文章をお寄せいただきましたが、規定の字数をオーバーしたため、残念ながら短縮をお願いすることになった方も何人かいらっしゃいました。趣味や現在の心境について語られる方も多く、人生の機微に触れた滋味あふれる文章により、新たな眼を開かれる思いがいたしました。

「校舎の変遷」ページの作成には、母校の先生方を始め、多くの方のお力をお借りしました。また母校の伊藤茂先生と美術部員の作品をカットに使わせていただきました。厚くお礼申し上げます。

表記についてはできるだけ統一しましたが、筆者のご希望により基準外の表記になっている部分があります。ご了承ください。

会報編集は、幹事学年である昭和四二年、五二年、六二年卒の委員が担当いたしました。不行き届きの点が多々あり、多くの皆様にご迷惑をおかけしたと存じます。この場をお借りしてお詫び申し上げます。

最後になりましたが、母校の益々の発展と、同窓生各位のご健勝をお祈りして、結びの言葉とさせていただきます。

同窓会総会運営委員会 会報部会一同

▽広告ご協賛の

御礼

平成二十二年岐阜高等学校同窓会総会の開催に伴う会報の発行に際し、広告のご協賛を賜りました皆様に厚くお礼申し上げます。

なお、ご紹介順序は会報の構成上原則的に広告スペース別の五十音順となっております。何卒ご了解下さいます様よろしくお願い申し上げます。

平成二十二年六月二十日

岐阜県立岐阜高等学校同窓会

平成二十二年総会運営委員会

運営委員長 小笠原文雄

平成三二年度 岐阜県立岐阜高等学校
同窓会総会

会 報

■発行

平成三二年六月二〇日

■編集

岐阜県立岐阜高等学校同窓会
平成三二年度総会運営委員会

■印刷 サンメッセ株式会社